

# 「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

令和2年6月30日  
農業技術課 広域普及指導センター

## 1 生育状況（実証ほデータ）

近年に比べて、草丈は長く、茎数、葉色は並み、葉齢は進んでいる。

葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は近年並みとなっている。

今後、平年並みの気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期はそれぞれ近年より2日程度早い7月10日頃、8月1日頃と見込まれる。

表1 「富富富」の生育状況（6月30日 栽培実証ほ）

| 年次または<br>試験内容 | ほ場数<br>(筆) | 田植日<br>(月/日) | 草丈<br>(cm)  | 茎数          |                     | 葉齢<br>(L)   | 葉色         |             | 幼穂<br>形成期     | 出穂期          |
|---------------|------------|--------------|-------------|-------------|---------------------|-------------|------------|-------------|---------------|--------------|
|               |            |              |             | (本/株)       | (本/m <sup>2</sup> ) |             | 葉色板        | SPAD        |               |              |
| <b>R2</b>     | <b>12</b>  | <b>5/15</b>  | <b>51.1</b> | <b>26.1</b> | <b>576</b>          | <b>10.9</b> | <b>4.4</b> | <b>39.4</b> | <b>(7/10)</b> | <b>(8/1)</b> |
| R元            | 12         | 5/13         | 46.5        | 28.5        | 616                 | 10.8        | 4.4        | 41.0        | 7/12          | 8/3          |
| 近年            |            | 5/14         | 44.0        | 28.4        | 607                 | 10.5        | 4.4        | 40.9        | 7/12          | 8/3          |
| 前年比・差         |            | 2            | 110         | 91          | 93                  | 0.1         | 0.1        | -1.6        | (-2)          | (-2)         |
| 近年比・差         |            | 1            | 116         | 92          | 95                  | 0.4         | 0.0        | -1.5        | (-2)          | (-2)         |
| 早期田植栽培・早植区    | 4          | 4/30         | 61.2        | 28.0        | 566                 | 12.3        | 4.2        | 36.9        | (7/1)         | (7/23)       |
| 高品質安定栽培・試験区   | 4          | 5/15         | 50.5        | 27.0        | 594                 | 10.7        | 4.5        | 39.3        | (7/11)        | (8/2)        |

注1) R2: 生育観測ほ、早期田植栽培・対照区、高品質安定栽培・対照区(合計12ほ場)の平均

R元: 実証ほ12か所の平均、近年: H29～R元の平均

注2) 本年の幼穂形成期および出穂期は予測値

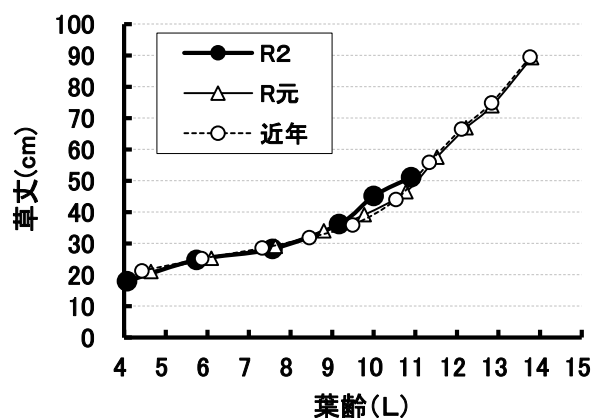


図1 草丈の推移（富富富実証ほ）

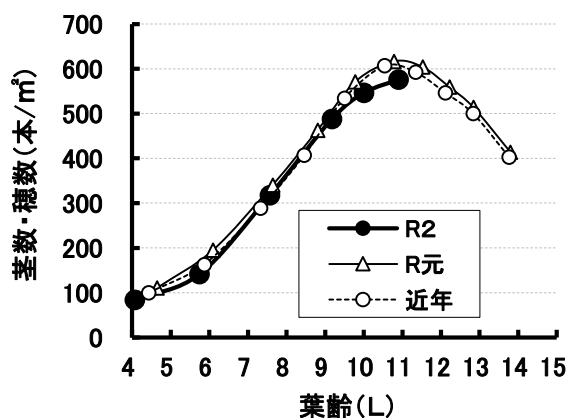


図2 茎数の推移（富富富実証ほ）

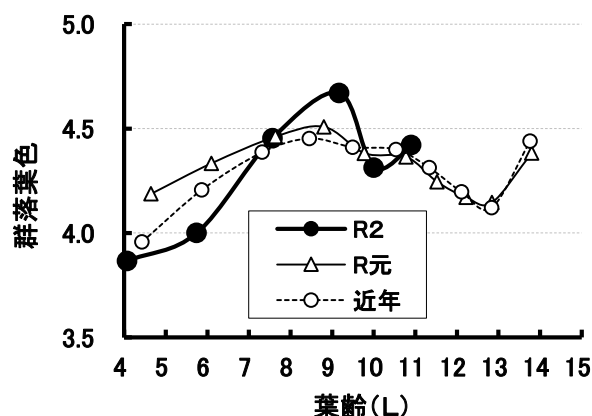


図3 葉色の推移（富富富実証ほ）

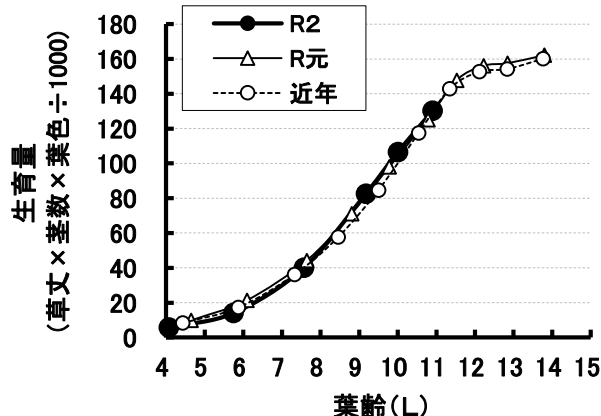


図4 生育量の推移（富富富実証ほ）

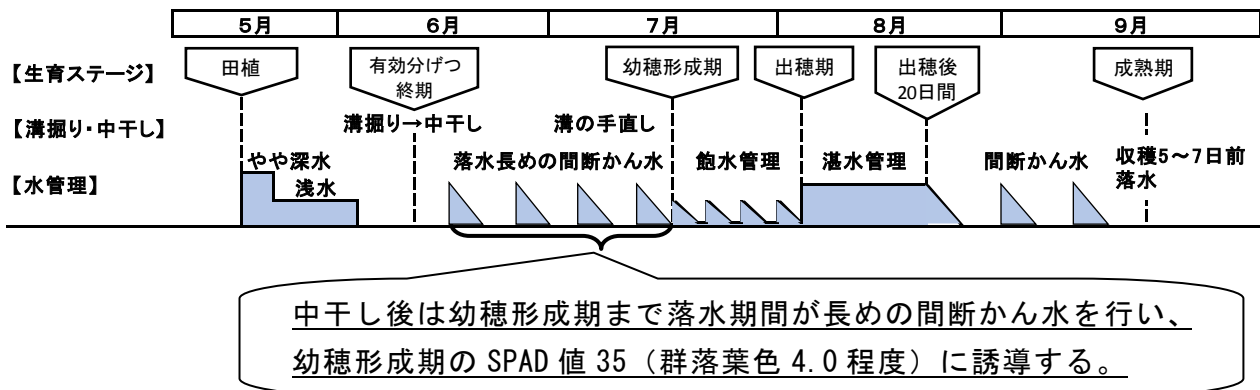
## 2 当面の技術対策

- ・ 中干し後は幼穂形成期まで落水期間が長めの間断かん水を行い、幼穂形成期の SPAD 値 35（群落葉色 4.0 程度）に誘導する。
- ・ 幼穂形成期以降は、飽水管理（足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持）を行う。
- ・ 分施栽培における穂肥は、1 回目を幼穂形成期の 7 日後頃に窒素成分で 0.75～1.0kg/10a、2 回目を 1 回目の 7 日後に窒素成分で 1.5kg/10a を基本とする。

### (1) 水管理

- ・ 中干し後は幼穂形成期まで落水期間が長めの間断かん水を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さ 3 cm 程度の土壌硬度に誘導する。
- ・ 籾数の適正化のため、幼穂形成期の SPAD 値 35（群落葉色 4.0 程度）に誘導する。
- ・ 幼穂形成期以降は、稲体の活力を維持するため、飽水管理を行う。

#### <水管理のイメージ>



### (2) 分施栽培における穂肥施用

穂肥は 1 回目を幼穂形成期の 7 日後頃（幼穂長 15mm 程度）に窒素成分で 0.75～1.0kg/10a 施用し、2 回目を 1 回目の 7 日後に 1.5kg/10a 施用する。

なお、幼穂形成期の茎数が 580 本/㎡以上、または SPAD 値が 35（群落葉色 4.0）以上の場合は、1 回目の穂肥を施用せず、幼穂形成期の 14 日後頃に窒素成分で 1.5kg/10a を確実に施用する。

表 2 幼穂形成期の生育の目安

| 草丈<br>(cm) | ㎡茎数<br>(本/㎡) | SPAD | 群落葉色 | 生育量  |      |
|------------|--------------|------|------|------|------|
|            |              |      |      | SPAD | 群落葉色 |
| 62         | 580          | 35   | 4.0  | 125  | 140  |

注) 生育量 SPAD : 草丈×茎数×SPAD÷10,000

群落葉色 : 草丈×茎数×群落葉色÷1,000

### (3) その他の管理

病害虫および雑草防除は、コシヒカリに準じて実施する。ただし、生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が 12 以内となるように留意する。

